

# 成城地区防災計画

[平成29年度作成]

成城地区区民防災会議

【成城地区防災計画作成団体】

成城地区区民防災会議

法人格 成城自治会	砧中学校
成城団地自治会	明正小学校 PTA
日赤奉仕団 成城分団	千歳小学校 PTA
成城消防団 第一分団	砧中学校 PTA
成城地区民生委員・児童委員協議会	成城消防署
成城地区身近なまちづくり推進協議会	成城あんしんすこやかセンター
成城商店街振興組合	成城地区社会福祉協議会
成城南商店会	(事務局)
明正小学校	世田谷区砧総合支所地域振興課
千歳小学校	成城まちづくりセンター

# 目 次

1. 趣旨	1
2. 成城地区の特性	
(1) 自然特性（面積、位置、標高・急傾斜地等）	2
(2) 社会特性（人口、耐火率、土地利用等）	3
(3) 被害想定	5
(4) 防災資源	7
3. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～	
(1) 集計表	8
4. 成城地区の課題と取り組み	
<平時の取り組み>	
(1) 地区の防災活動の充実と防災力の向上を図る	1 6
(2) 防災情報の共有を図る	1 7
(3) 防災資源の活用と区内事業者等との連携を進める	1 8
(4) 災害時要配慮者対策	2 0
(5) 家庭における防災の備えの強化を図る	2 1
(6) 日ごろのコミュニケーションの強化を図る	2 3
(7) 避難路、避難場所の点検を進める	2 4
(8) 良好な住環境を保全する	2 4
(9) 大雨（集中豪雨）時の対策の充実を図る	2 6
<災害発生時の取り組み（発災直後）>	2 7
(1) 「災害発生時住民行動マニュアル」に従い行動する	
(2) 初期消火	
(3) 負傷者の緊急搬送	
(4) 情報収集と区成城拠点隊への連絡	
(5) 地区内の情報共有	
(6) 避難所の開設	
<避難所共通課題>	2 8
(1) 避難所（小中学校校舎等）の速やかな応急危険度判定実施体制の構築	
(2) 災害時要配慮者（高齢者や障害者等）への配慮	
(3) 女性やプライバシーへの配慮	
(4) ペットの同行避難にあたっての対応	
(5) 発電機の使用しにくい夜間の明かりの確保	
(6) 受水槽を活用した飲料水等の確保	
(7) 暑さ、寒さへの対応	
(8) 食料等の公平な配給	
(9) ボランティアの受け入れ	
5. 大災害発生時住民行動マニュアル	2 9

## 1. 趣旨

東日本大震災では、地震・津波によって市町村の行政機能（公助）が麻痺してしまい、地域住民自身による自助、地域コミュニティにおける共助が災害対応において重要な役割を果たしました。これを踏まえ、平成26年4月に施行された改正災害対策基本法では、地区における災害時の活動の主体となる「市町村の居住者等から地区防災計画を提案できること」が明記されました。

提案された地区防災計画（案）は市区町村の地域防災計画に位置付けられることによって、市区町村もそれを地域防災計画と連携させて、地域や住民の安全を守ることができるように工夫することになります。

成城地区は、約100年前のまちの開発と住民間の取り決めによるまちづくりが、本計画の資料編での各種データ数値に表れているような防災力の高い街を形作っています。さらに、成城地区自治会連合会では「大災害発生時、一人の犠牲者も出さない」ことをスローガンとして、発災時に「大災害発生時住民行動マニュアル」に従って行動することによって、大切な命を守ろうとする発災直後に特化した災害対策活動を展開し浸透を図っているほか、地区内の様々な団体が直接的、間接的に防災に繋がる活動を行っています。

本計画は、成城地区区民防災会議が中心となり、地区の特性と防災塾等での意見交換を踏まえ、課題を明らかにし、住民や団体、区が行うべき対応を示すべく策定したものです。

この計画で示された取り組みにより、「大災害発生時、一人の犠牲者も出さない」ための意識と備えが成城全体に広がることを願っています。

成城地区区民防災会議

# 1. 成城地区の特性

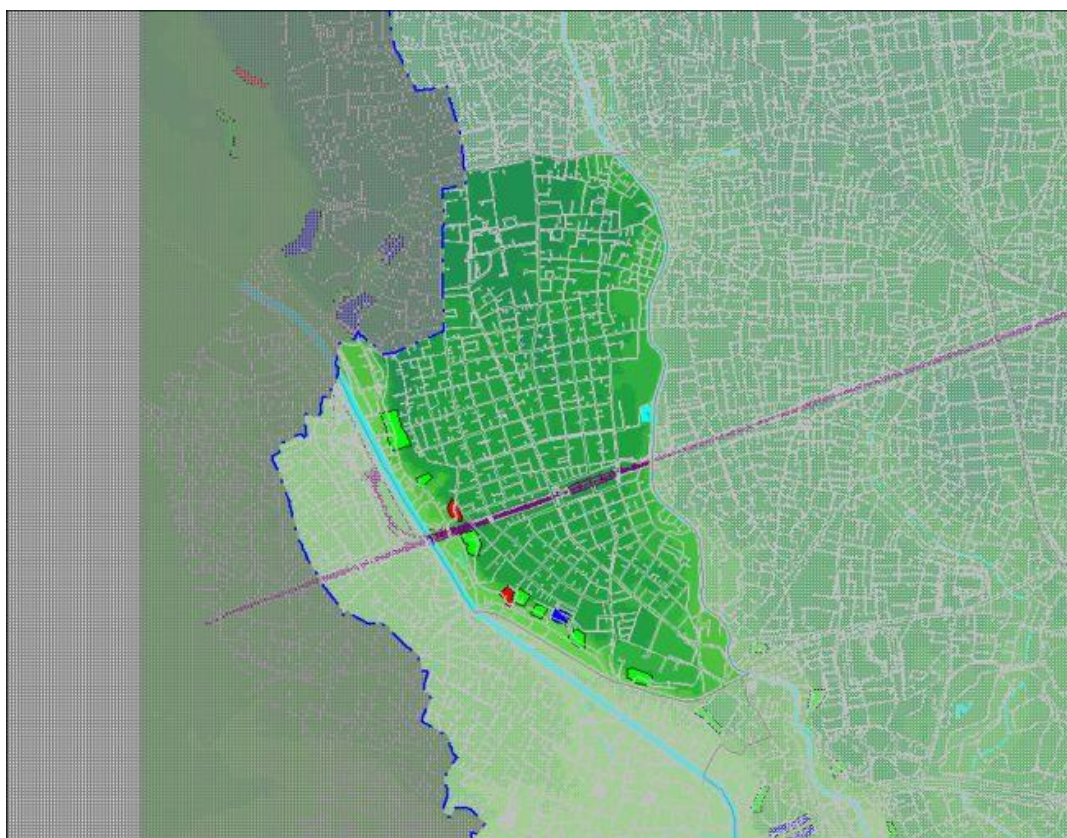
## (1) 自然特性

面積	2.26	Km <sup>2</sup>
----	------	-----------------

### 位置



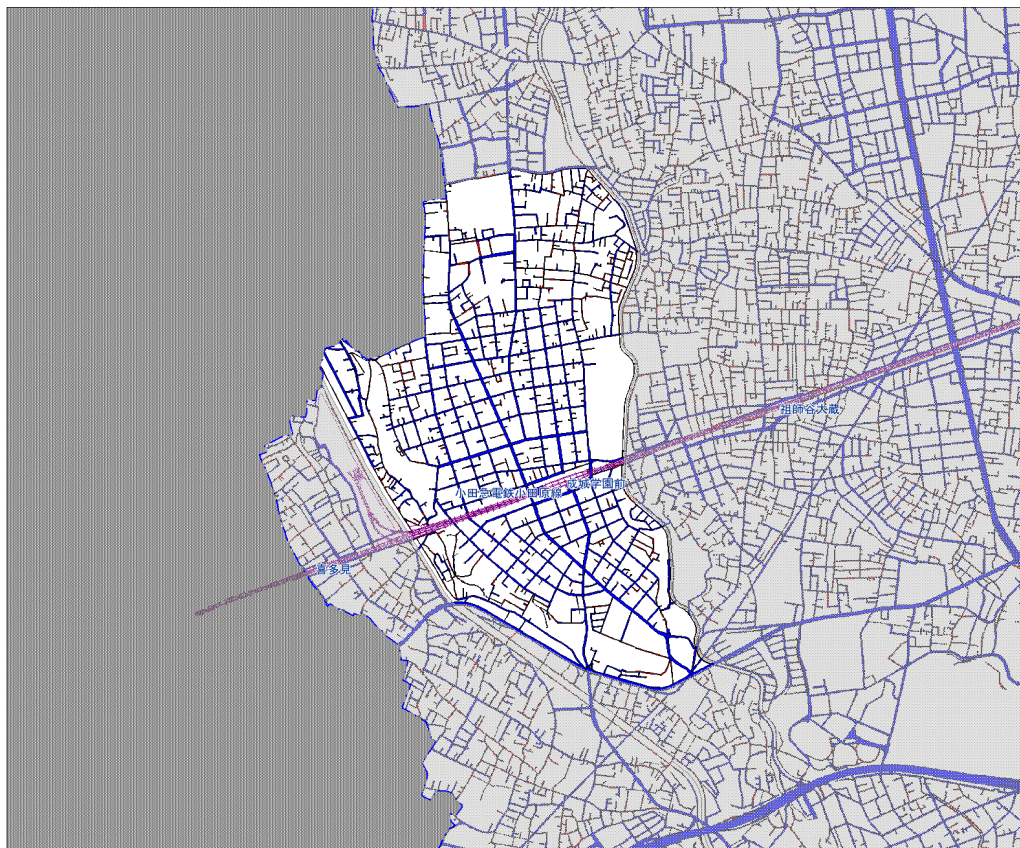
### 標高・急傾斜地



## (2) 社会特性

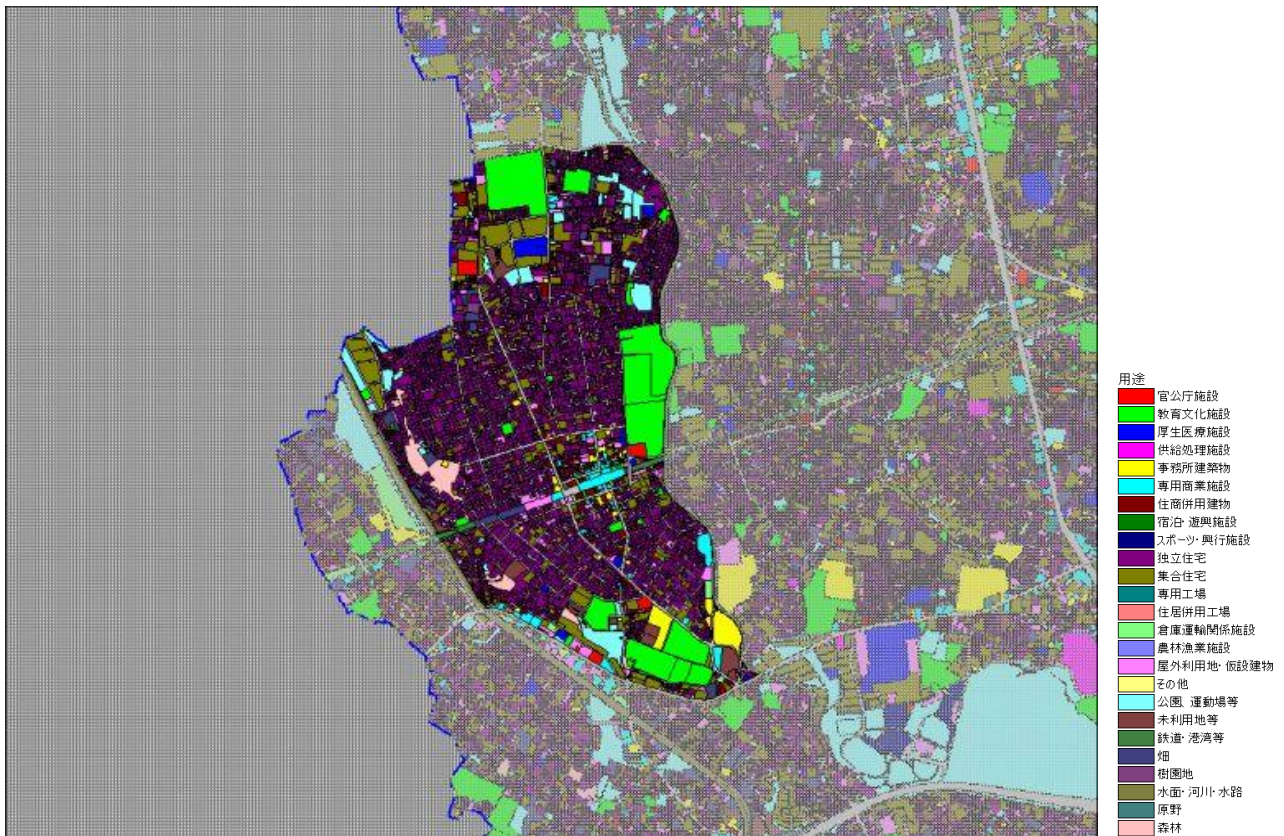
人口	22,382 人	細街路率	29.2 %	
世帯数	9,928 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	84.9 棟/Km <sup>2</sup>	
1世帯あたり	2.25 人	耐火率	67.8 %	
若年層数(15才未満)	2,858 人	土地利用(宅地)	69.2 %	
若年層率(15才未満)	12.8 %	土地利用(宅地以外)	30.8 %	
高齢者数(65才以上)	5,450 人	鉄道駅	小田急小田原線成城学園前駅	
高齢者率(65才以上)	24.3 %			
昼間の人口	35,401 人	産業	商業	72.5 %
夜間の人口	21,863 人		工業	4.1 %
昼夜間人口比	1.62 -		農業	23.4 %

### 道路・公共交通機関



## (2) 社会特性

### 産業

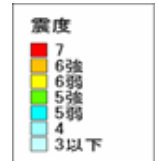
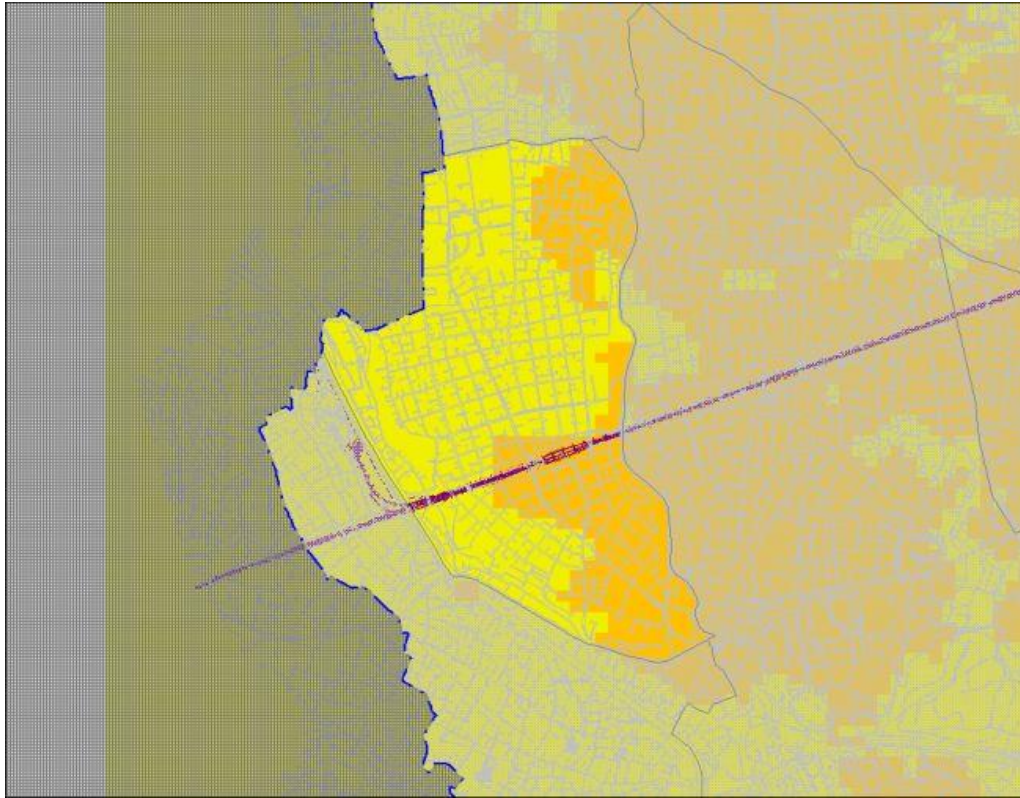


世田谷区の町丁別人口と世帯数 平成27年9月1日現在  
町丁別昼間人口(推計) 平成22年国勢調査 世田谷区 平成25年6月  
平成23年度土地利用現況調査データ 平成24年2月

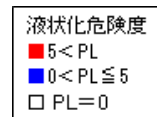
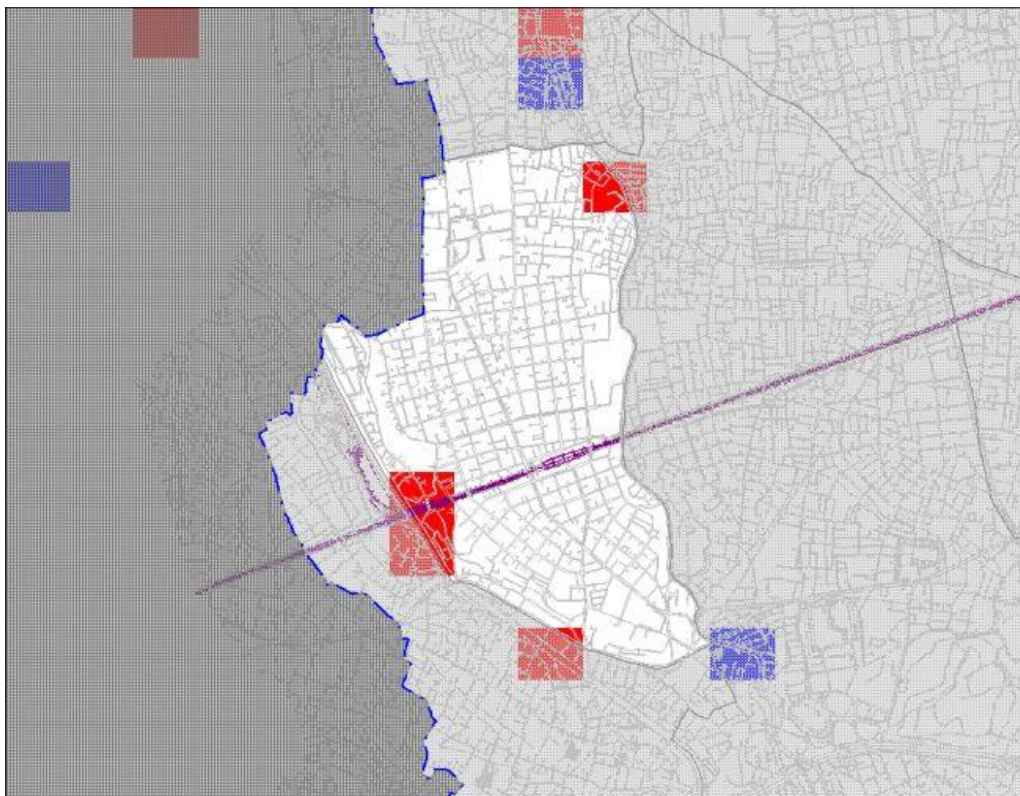
### (3) 被害想定

全壊棟数	183 棟	死者	16 人
半壊棟数	701 棟	負傷者	179 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	208 棟	うち重傷者	33 人

#### 震度分布



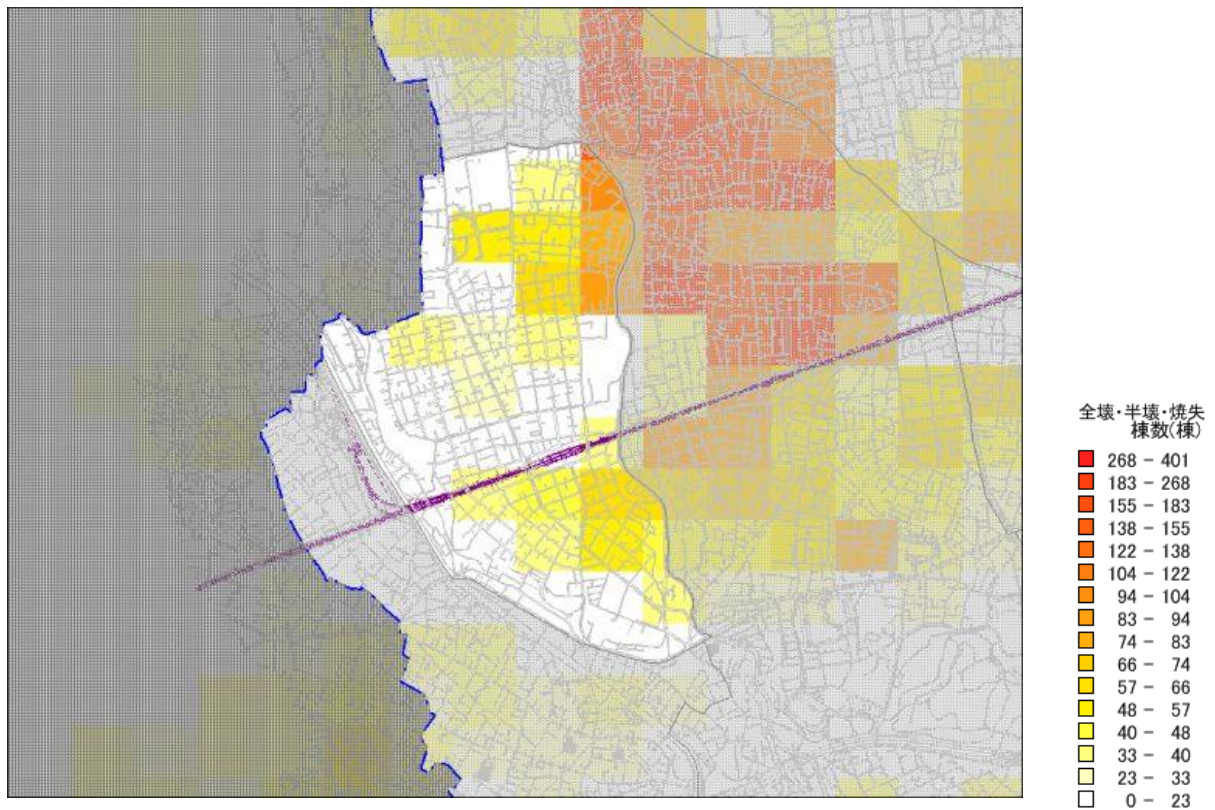
#### 液状化分布





### (3) 被害想定

#### 被害棟数分布

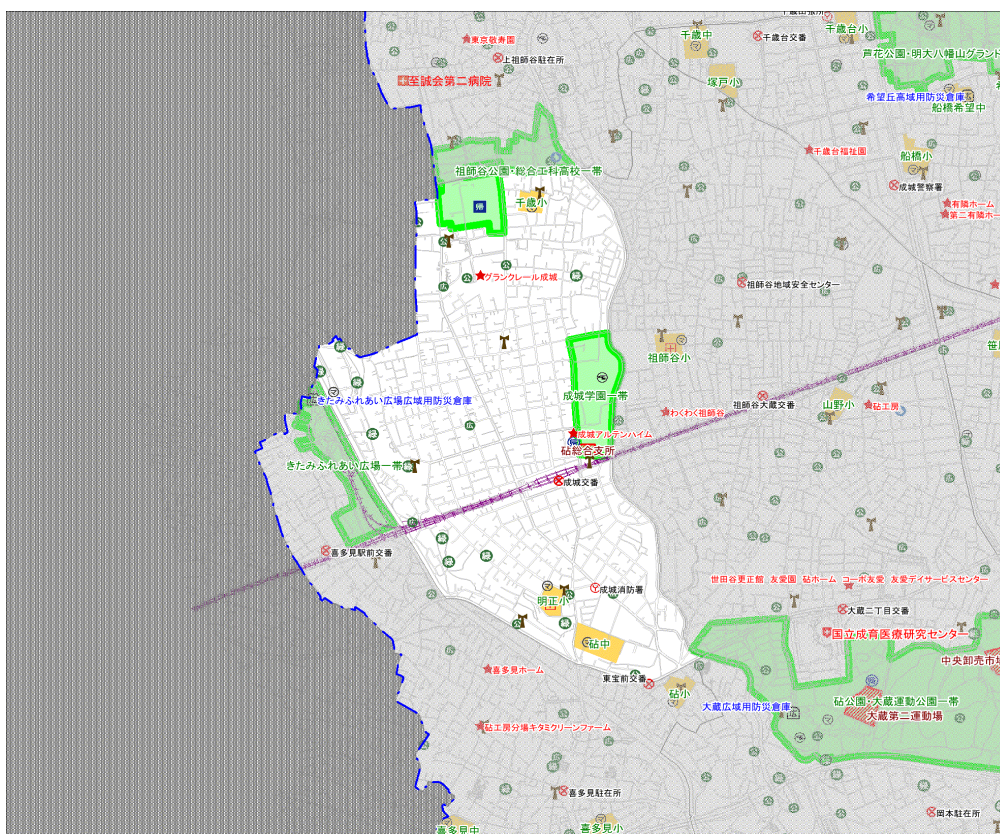


首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表  
世田谷区防災マップデータ 平成26年5月26日現在  
マンホールトイレ設置場所 平成28年3月31日現在

## (4) 防災資源

広域避難場所	祖師谷公園・総合工科高校一带 成城学園一带		
指定避難所	明正小学校 砧中学校 千歳小学校		
福祉避難所	グランクレール成城 成城アルテンハイム、エリザベート成城		
医療救護所	明正小学校		
東京都災害拠点病院			
東京都災害拠点連携病院			
帰宅支援ステーション	都立総合工科高等学校	帰宅困難者支援施設	1 ヶ所
マンホールトイレ	7 ヶ所	防災無線塔	7 ヶ所 緑地 10 ヶ所
輸送拠点	砧総合支所		
給水拠点	大蔵給水所 祖師谷公園給水所(いずれも成城地区外)		
広域用防災倉庫			
警察署・交番	成城交番		
消防署	成城消防署 (消防団は成城消防団第一分団)		

### 防災資源



- 広域避難場所
- 避難所
- ★ 二次避難所(福祉避難所)
- + 医療救護所
- + 東京都災害拠点病院
- + 東京都災害拠点連携病院
- 帰宅支援ステーション
- 帰宅困難者支援施設
- マンホールトイレ
- T 防災無線塔
- 緑地
- 公園
- 身近な広場
- 輸送拠点
- + 給水拠点
- 広域用防災倉庫
- + 災害時着陸候補地
- + 警察署・交番
- + 消防署